

# 連携医院のご紹介

今回は、女性らしい配慮にあふれる、ちえ内科クリニック 峠千衣先生をご紹介します。



峠千衣 院長

## ちえ内科クリニック

〒736-0026  
広島県安芸郡海田町幸町8-14-3  
電話/082-847-6500  
FAX/082-847-6505  
院長/峠千衣  
診療科/内科・消化器内科・内視鏡内科



○いつ開業されましたか。  
平成23年7月1日に開業いたしました。

○開業されてから今までのことを教えてください。

専門である内視鏡検査を通して、食道がん、胃がん、大腸がんなどの早期発見に努めてまいりました。検査を楽にお受け頂けるようさまざまな工夫をしております。また、癌の一次予防という意味で 禁煙外来も積極的に行っておりまして。もう少しで100人の方が卒煙なさる見込みです。

○毎日の診療で大切にしていることは何ですか。

いつもそばにいてくれるクリニックスタッフから 信頼される医療機関でありたいと思い努力してきました。そして、ご近所の方々から安心してご相談していただける場でありたいと思っています。患者さんとの出会いは一期一会ですので、ご縁を大切に真摯に向き合ってお話を伺い、いい医療を提供していきたいと考えております。

○開業医としての面白さはどこにありますか。

日々、連続して患者さんと向き合

うことができるところです。病気の早期発見ができたり、健康管理がうまくできると本当にうれしいですね。禁煙に成功された方の生き生きとした表情はいつ拝見しても素晴らしいです。

○県病院について一言お願いします。

難しい病気の方々にも、最新の医療で最善を尽くして頂いていると思っています。ご紹介させていただいた患者さんからの信頼も厚く、心から感謝しております。



ちえ内科クリニック外観

### 【取材後記】

大腸内視鏡検査などの準備がゆつたりとできるよう、トイレ付の個室が3部屋用意されていました。清潔で、先生の笑顔とやさしさが心地よく、ついつい長居をしてしまいました。先生、これからもよろしくをお願いします。

# もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページに掲載しています。

県立広島病院 で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)

理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

かかりつけ医は

# KBネット?



KBネットとは、患者さんのかかりつけ医の先生方に、県病院での治療や検査の内容をパソコンで見てもらうことで、県病院の情報を活かした治療を行っていただける仕組みです。

## KBネット接続医療機関一覧

(平成25年11月18日時点136施設)

南区	東区
もり小児科 牛尾内科医院 藤井循環器内科 半田耳鼻咽喉科 古川医院 新甲さなえ女性クリニック 福原整形外科医院 古谷皮ふ科クリニック まだえ内科呼吸器科 田村医院 中谷外科医院 宏精クリニック メンタルクリニックラッコリン はたの皮膚科クリニック 野島内科医院 宇品神田クリニック 佐々木内科胃腸科 こうの子供クリニック にほ耳鼻咽喉科アレルギー科クリニック 広島みなとクリニック みなもと眼科 吉田眼科医院 多田耳鼻咽喉科クリニック 内科佐藤クリニック 星野外科クリニック 中西医院 おちうみ内科消化器クリニック 福永循環器・内科 似島診療所	井上内科医院 竹本医院 さとう脳神経外科クリニック 岩本内科医院 宇品メンタルクリニック 大下医院 山田外科内科医院 かてな泌尿器科クリニック 耳鼻咽喉科おおたクリニック 堂面医院 福原医院 平賀内科クリニック 霞クリニック 中崎医院 竹内医院 ひらた眼科 イーストクリニック 富原脳神経外科医院 東雲クリニック 生塩眼科 新井内科 島本外科内科医院 江島医院 岡田整形外科医院 大瀬戸リハビリ整形外科 田島医院 さくま眼科 たねもり内科クリニック えぐさ内科クリニック
佐伯区	西区
今井耳鼻咽喉科 まんだに心療内科クリニック 五月が丘クリニック たけだ内科循環器クリニック	山科循環器・外科医院 浜村耳鼻咽喉科 古江クリニック 水入クリニック 高橋泌尿器科・皮ふ科クリニック 中川外科胃腸科 山村眼科 山崎病院
安芸区	中区
小野耳鼻咽喉科 はたのりハビリ整形外科 広島ペイククリニック	香川乳腺クリニック 大橋内科医院 折口内科医院 藤井病院 妹尾内科 サザンクリニック整形外科・内科 尾鍋外科病院 さだもりレディースクリニック はしもと胃腸科内科 いのうえ内科脳神経クリニック 女性クリニックラポール 小網町ペインクリニック 千田こどもクリニック
江田島市	安佐南区
幸田医院 梶川医院	山本内科循環器科 かわむら内科クリニック 川口クリニック 横川クリニック よしみつこどもクリニック 耳鼻咽喉科くにもと医院 安佐在宅診療クリニック 桑原医院 西山皮ふ科アレルギー科 西山皮ふ科アレルギー科
海田町	安佐北区
秋本クリニック 津田産婦人科クリニック	新谷整形外科医院 高陽耳鼻咽喉科 中西内科 馬場クリニック 中岡内科 二宮内科 やまさき整形外科 井口医院 小田内科クリニック おきた内科クリニック
府中町	廿日市市
府中みくまり病院	中丸クリニック わか小児科
坂町	東広島市
河原クリニック	藤原内科医院 よこやま産婦人科 悠心療内科 西条ときわクリニック 松田医院 友安クリニック 松林レディースクリニック こまさわ小児科
島根県	府中町
ごうばら耳鼻咽喉科	府中みくまり病院 小山田内科医院
いしみつ耳鼻咽喉科クリニック	熊野町
(敬称略)	酒井耳鼻咽喉科皮ふ科医院

## 県立広島病院からのお知らせ

### クリスマスコンサート

とき 平成25年 12月25日(水)  
15:00~(予定)

ところ 中央棟1階 中央玄関ホール  
対象 どなたでもご覧になれます

問合せ先 総務課 庶務係  
TEL:082-254-1818  
内線 (4228)



昨年のクリスマスコンサートの様子

### 年末年始の休診のお知らせ

年末年始の外来診療につきまして、次の通りとさせていただきます。皆様には大変ご不便をおかけしますが、よろしくお願ひ申し上げます。

平成25年	12月28日(土)	12月29日(日)	12月30日(月)	12月31日(火)	休診
平成26年	1月1日(水)	1月2日(木)	1月3日(金)	1月4日(土)	休診
	1月5日(日)	1月6日(月)			平常通り

## KBネット

現在の参加医療機関は

136 機関です。  
(11月18日現在)

問合せ先 地域連携センター  
電話(082)252-6228(直通)

### 外来診療のご案内

診療受付時間  
午前8時30分~午前11時00分  
※午後の診療は科によって異なります。

休診日  
土曜日・日曜日・祝祭日  
年末年始

### 紹介状持参のお願い

初診時、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合、保険診療費の他2,620円のお支払いが必要となります。初診の際には、紹介状をお持ち下さい。

※当院では、予約診療を優先して診察しています。予約診療以外で受診されると待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承下さい。

# 総合診療科をご紹介します!



総合診療科部長  
岡本和子

## 総合診療科ってどんなところ?

“体に気になるところがあって病院に行きたいけれど、どの科を受診したらよいか分からない”という患者さんが受診されます。例えば、熱が続く人、体に様々な症状がある人、だるさ強い人、体重が減った人、そのほか、風邪症状、めまい、咳、胸痛、背部痛、頭痛、嘔吐下痢などの症状がある人が受診されます。その他、就職・海外赴任のための健康診断や健康診断の2次検査を希望される方も受診されます。

## どんな診療をしているのですか?

### ①まずは、詳しくお話をお聞きします。(問診)

#### 問診票

- いつ頃から、どこにどのような症状があるのか
- どんな程度でどのような経過なのか
- どのような病気を心配しているか
- 自分で原因に心当たりがあるか
- どうして受診しようと思ったのか
- 食欲は?睡眠は?体重は?熱は? など

### ②診察をします。

問診結果にもよりますが、全身について詳しく身体所見をとります。

### ③検査をします。

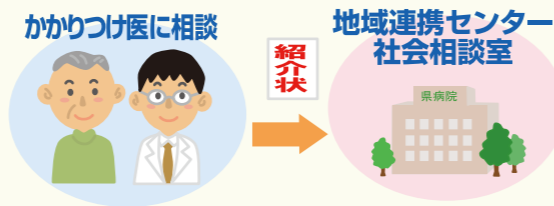
血液検査、尿検査、超音波検査(腹部・心臓)、レントゲン・CT検査、MRI検査、胃カメラ、大腸カメラなど。受診された当日に施行可能で結果を説明できる検査もあれば、予約を取って後日行う検査もあります。

### ④治療をします。

当科で外来治療を行うことが多いですが、患者さんが希望された場合、また、医学的に必要と考えられる場合には、その領域の専門治療が受けられるように紹介します。総合診療科で入院治療を行うこともあります。

## 受診の際のポイント

★今までの経過・検査・治療内容を診察医に伝えるために、出来る限り紹介状を持参されることをお勧めします。まず、かかりつけ医に相談していただき、当院地域連携センター社会相談室を通じて紹介受診していただけますよう、よろしくお願いいたします。



★紹介状を持参できない場合には、左記の問診票に答えられるように準備をお願いします。熱が続く場合には、一日に数回体温測定し、その記録を持参しましょう。他の病院で検査・治療をされたことのある方は、その検査内容・治療内容がわかるもの(特にお薬手帳など)を持参しましょう。



ひとりひとりの診察に時間をかけているため、初診時には待ち時間が長くなってしまふ場合があります。どうぞご理解の程、お願い申し上げます。



総合診療科スタッフです

# 外科医の独り言 no.27

## — 認知的不協和 —

生活習慣病の一つである肥満は、高血圧、心臓病やがんなどの危険因子であり、今まさに食事療法や運動療法で格闘されている方も多いかと思ひます。私も極度の肥満というわけではありませんが標準体重をはるかにオーバーしており、常々“プチダイエット”を試みています。患者さんも太った医者に「痩せろ!」なんて言われたら「お前が痩せろ!」と突っ込みたくなりますよね。というわけで幾度となくチャレンジするのですが、何故か挫折を繰り返しています。このように痩せたいけど痩せられないという矛盾が生じると本人にとって不快なもので、心理学的にはこの矛盾を『認知的不協和』と言うそうです。これをまあ意志が弱いと言ってしまえばその通りですが、人間誰しも自分の意志の弱さを認めたくありません。そんな『認知的不協和』を解決するために自分を納得させる言い訳、屁理屈を考えてしまいます。私の場合は、「美味しく食べられるのは健康な証拠」とか「いつ食べるの、今でしょ」といった言い訳で自分を納得させてしまうのですが「いつ食べるの、今でしょ」が理性的かどうかはわかりません。『認知的不協和』を説明するためによく引用されるのは、インソップ物語の「キツネとブドウ」というお話です。キツネが山を歩いていた時、たわわに実ったブドウを見つけました。しかしそのブドウは高い木に実っていたためキツネがいくらジャンプしても届きません。キツネにはブドウを食べたいけど食べられないという矛盾、何とも不愉快な『認知的不協和』が生じます。キツネにとっては木に登って

ブドウをとることくらい簡単なはずなのですが、自分の怠慢から発生したこの不愉快な矛盾を「どうせこのブドウはまずいに違いない、そんなブドウを食べる必要はない」と自分に言い聞かせて納得する必要があったのです。素直に自分の能力不足を認めればよいのですが、それができないので正当化する理由を考えてしまうのです。もう一つよく引用されるのは、喫煙です。喫煙は体に悪いということは皆よくわかっているのですが、なかなか止められません。自分の意志の弱さを認めたくないでこの『認知的不協和』を自分に納得させるために色々言い訳を考えます。その代表的な言い訳は「たばこを吸っていても長生きしている人がいる」「たばこを吸わなくてもがんになる人がいる」「ストレス解消にたばこを吸っているのだから止めたらストレスが溜まって余計に体に悪い」などなど。

我が家にはうがい専用の水があります。うがいというが歯周病を予防する水のようなのですが、それが消毒用の純エタノールと似たような容器に入っています。もちろん純エタノールにはちゃんとラベルが貼ってあるのですが、先日不覚にも誤って消毒用エタノールでうがいしてしまいました。ちゃんと確認してうがいすれば良かったのですが、当然不愉快な『認知的不協和』が生じました。確認不足の自分を責めることなく「より強力な消毒ができた」といって納得させた自分は超前向きだとは思いませんか?



副院長(消化器・乳腺・移植外科主任部長)板本敏行(いたもと としゆき)

## 県病の星

### 認知症看護認定看護師

認知症とは、脳の器質的な障害により、日常生活を送ることが少しずつ難しくなってしまう状態です。高齢者人口の増加に伴い、認知症の入院患者さんも増えてきています。認知症の人にとって、入院するという事は、環境の変化や治療によるストレスなど、日常生活を送ることをさらに困難にしてしまう要因が多くあります。しかし、認知症の人の困っている部分をごなかの考え、療養環境を調整することで、認知症の人が必要としている急性期医療を受けることができるかと考えています。また、今までの生活に戻ることができるようにするには、どのようにしたらよいか考え、その人らしい人生が送れるように看護実践をしていきたいと思ひます。

認知症看護認定看護師には、認知症の人の意思を尊重し、権利を擁護するとともに、認知症患者がどのような状態であるのかを考え、各期に応じたケアの実践、ケア体制づくり、介護家族のサポートを行うことなど認知症看護に関する様々なことが求められています。

認知症の人への関わりに悩んでおられることなど何かありましたら一緒に考えていきたいと思ひますので、お気軽にご相談ください。



西8病棟  
渡部

## 災害派遣医療チーム DMAT 実働訓練



11月9日(土)に中国地方の災害派遣医療チーム(DMAT)による実働訓練が行われました。訓練は安芸灘から伊予灘を震源とするM7.25の地震を想定。5県(広島・岡山・島根・鳥取・山口)のDMAT約40チームのメンバーを含む約270名が参加し、広島空港と災害拠点病院となる当院とJA尾道総合病院、福山市民病院に出動しました。当院では、災害医療シミュレーションキットを用いてトリアージエリアや各診療エリアの活動をホワイトボード上で再現し、災害時医療活動の検証を行いました。また、災害対策本部の運営は、実災害時に災害対策本部員となる職員が行いました。訓練の後半からは、他病院のDMATが当院の応援に入り、DMATとの連携についても検証しました。